



令和5年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

令和4年8月5日

上場会社名 ニチモウ株式会社

上場取引所 東

コード番号 8091 URL <http://www.nichimo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松本 和明

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総務部長兼財務部長 (氏名) 小島 章伸

TEL 03-3458-4550

四半期報告書提出予定日 令和4年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和5年3月期第1四半期の連結業績(令和4年4月1日～令和4年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
5年3月期第1四半期	31,322	20.5	915	37.4	1,012	32.1	731	29.4
4年3月期第1四半期	25,996	3.1	666	54.8	766	27.2	565	10.8

(注) 包括利益 5年3月期第1四半期 1,367百万円 (121.4%) 4年3月期第1四半期 617百万円 (8.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
5年3月期第1四半期	214.08	208.00
4年3月期第1四半期	164.72	160.47

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
5年3月期第1四半期	83,918	21,225	25.1
4年3月期	74,863	20,066	26.6

(参考) 自己資本 5年3月期第1四半期 21,079百万円 4年3月期 19,928百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
4年3月期		40.00		60.00	100.00
5年3月期					
5年3月期(予想)		60.00		60.00	120.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和5年3月期の連結業績予想(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	120,000	3.9	2,600	18.8	3,100	14.2	2,200	20.1	643.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	5年3月期1Q	3,787,400 株	4年3月期	3,787,400 株
期末自己株式数	5年3月期1Q	370,589 株	4年3月期	370,511 株
期中平均株式数(四半期累計)	5年3月期1Q	3,416,861 株	4年3月期1Q	3,432,359 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症に対する行動制限等の緩和が進む中、経済社会活動の正常化や各種政策の効果もみられ、景気の持ち直しがみられました。一方、ウクライナ情勢の長期化に加え、為替の円安による原材料価格の上昇や中国のコロナ対策による供給面の制約もあり、金融資本市場の変動等を含めた下振れリスクに注視が必要となっています。

このような経済環境のなか、当社グループの事業基盤であります水産、水産加工・流通、食品の各分野におきまして、新型コロナウイルス感染症の影響やウクライナ侵攻に対するロシアへの制裁で資源価格が高騰し、国内外における水産物の需要・供給の変化や原材料価格の急激な変動で、厳しい環境下にありました。

このような情勢のもとで、当社グループは、3ヵ年経営計画「第137期中期経営計画（Toward the next stage）」の初年度として、経営方針「浜から食卓までを網羅し繋ぐ」をベースに、未来へ「繋ぐ」、事業を「繋ぐ」、人を「繋ぐ」の3つの「繋ぐ」を意識した経営で新たな価値を創造し、企業価値の向上を図ってまいりました。

以上の結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間における売上高は313億22百万円（前年同期比53億26百万円の増加）、営業利益は9億15百万円（前年同期比2億48百万円の増加）、経常利益は10億12百万円（前年同期比2億46百万円の増加）、親会社株主に帰属する四半期純利益は7億31百万円（前年同期比1億66百万円の増加）となりました。

セグメント別の概況は次のとおりであります。

<食品事業>

食品事業におきましては、すり身は国内すり身生産が順調に推移しておりますが、海外からの買付販売が減少し売上は前期並みとなりましたが利益は減少いたしました。カニは相場の上昇により前期比増収となりましたが、物流費の上昇等もあり、利益率が低下したことで減益となりました。北方凍魚は、新型コロナウイルスの影響による物流の混乱もありましたが、国内向けマダラ、ホッケ等の販売と中国向けカレイ類が前年比増加したことで、増収増益となりました。助子は製品の販売が新型コロナウイルスによる中国の加工場の稼働低下や物流の混乱で量販店向けは減少いたしました。土産物向けの販売が増加したことで、減収増益となりました。

これらの結果、売上高は203億65百万円（前年同期比42億75百万円の増加）、セグメント利益は6億63百万円（前年同期比30百万円の増加）となりました。

<海洋事業>

漁網・漁具資材部門では、依然として北海道沿岸における漁獲不振の影響や新型コロナウイルスによる沿岸漁業への影響もありますが、前期の反動増もあり官庁船向け資材や旋網漁具等が堅調に推移いたしました。また円安により中国向けまき網資材輸出も伸長いたしました。船舶・機械部門では、船用機器類の販売、船用品の販売が堅調に推移したことで、増収増益となりました。養殖部門では、魚価が堅調なことから種苗や養殖用資材の販売も順調に推移いたしました。飼料の販売は原料価格の値上げがありましたが、製品価格の大幅な値上げを控えたことで、需要の増加となりました。成魚の販売は新型コロナウイルスの影響から回復してきたことで、増収増益となりました。

これらの結果、売上高は47億2百万円（前年同期比4億56百万円の増加）、セグメント利益は95百万円（前年同期比27百万円の増加）となりました。

<機械事業>

機械事業におきましては、国内は新工場向け案件もあり中華製品向け機械の受注が好調に推移したことや、輸出におきましても海外への入出国制限が緩和されたことにより、豆腐業界向け、総菜調理品向けを中心に据付、検収が順調に進み、増収増益となりました。

これらの結果、売上高は32億54百万円（前年同期比5億59百万円の増加）、セグメント利益は3億42百万円（前年同期比2億14百万円の増加）となりました。

<資材事業>

資材事業におきましては、食品用包材の受注は減少となりましたが、住宅内装材に使われる印刷用フィルムや産業資材関連などは原材料高をこなしながらも、受注は順調に推移し増収増益となりました。農畜資材では肥料・資材の販売が堅調に推移したことから、増収増益となりました。

これらの結果、売上高は22億62百万円（前年同期比30百万円の増加）、セグメント利益は1億36百万円（前年同期比16百万円の増加）となりました。

<バイオティックス事業>

バイオティックス事業では、医師向け、通販は堅調に推移しましたが、大手健康食品メーカー向けの素材「アグリマックス」および薬局向けOEM商品の販売が苦戦し、売上高は83百万円（前年同期比1百万円の減少）、セグメント損失は0百万円（前年同期は7百万円のセグメント利益）となりました。

<物流事業>

物流事業では、菓子類の出荷が低迷する中、売上高は前年並みを維持しましたが、一方、利益につきましては、燃料高騰や車両に係る経費負担増があり、売上高は6億26百万円（前年同期比4百万円の増加）、セグメント損失は6百万円（前年同期は17百万円のセグメント利益）となりました。

<その他>

その他といたしましては、不動産の賃貸、人材派遣業を行っており、売上高は26百万円（前年同期比0百万円の増加）、セグメント利益は19百万円（前年同期比9百万円の増加）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資 産）

当第1四半期連結会計期間末における総資産は839億18百万円（前連結会計年度比12.1%増）となりました。総資産の増加は、主として売上債権及びたな卸資産の増加によるものであります。

（負 債）

当第1四半期連結会計期間末における総負債は626億93百万円（前連結会計年度比14.4%増）となりました。総負債の増加は、主として仕入債務及び短期借入金と長期借入金の増加によるものであります。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産は212億25百万円（前連結会計年度比5.8%増）となりました。純資産の増加は、主として利益剰余金及び為替換算調整勘定の増加によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和5年3月期の業績予想につきましては、前回公表（令和4年5月13日）いたしました連結予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和4年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (令和4年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,153	6,881
受取手形及び売掛金	18,534	20,241
商品及び製品	22,257	28,395
仕掛品	1,031	716
原材料及び貯蔵品	3,218	3,232
前渡金	709	703
その他	1,170	929
貸倒引当金	△57	△68
流動資産合計	53,017	61,032
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	9,126	9,331
減価償却累計額及び減損損失累計額	△6,276	△6,355
建物及び構築物(純額)	2,850	2,975
機械装置及び運搬具	8,380	8,550
減価償却累計額及び減損損失累計額	△6,034	△6,277
機械装置及び運搬具(純額)	2,345	2,273
工具、器具及び備品	994	1,005
減価償却累計額及び減損損失累計額	△777	△799
工具、器具及び備品(純額)	216	205
土地	2,848	2,927
建設仮勘定	1,013	1,549
有形固定資産合計	9,275	9,930
無形固定資産		
のれん	21	10
その他	703	720
無形固定資産合計	725	731
投資その他の資産		
投資有価証券	11,008	11,309
長期貸付金	42	42
破産更生債権等	975	874
長期預金	77	85
繰延税金資産	221	240
その他	458	514
貸倒引当金	△993	△892
投資その他の資産合計	11,790	12,173
固定資産合計	21,790	22,836
繰延資産		
社債発行費	55	49
繰延資産合計	55	49
資産合計	74,863	83,918

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (令和4年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (令和4年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,378	15,179
短期借入金	21,437	26,412
1年内償還予定の社債	2,348	2,348
1年内返済予定の長期借入金	870	860
未払法人税等	828	122
賞与引当金	501	273
その他	3,302	3,486
流動負債合計	42,665	48,682
固定負債		
社債	3,052	3,052
長期借入金	6,954	8,588
長期未払金	18	-
繰延税金負債	703	903
役員退職慰労引当金	179	170
退職給付に係る負債	696	677
その他	528	619
固定負債合計	12,132	14,011
負債合計	54,797	62,693
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,411	4,411
利益剰余金	14,307	14,832
自己株式	△1,005	△1,005
株主資本合計	17,713	18,238
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,268	2,453
繰延ヘッジ損益	49	134
為替換算調整勘定	7	357
退職給付に係る調整累計額	△111	△105
その他の包括利益累計額合計	2,214	2,840
新株予約権	130	130
非支配株主持分	7	15
純資産合計	20,066	21,225
負債純資産合計	74,863	83,918

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和3年4月1日 至 令和3年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和4年4月1日 至 令和4年6月30日)
売上高	25,996	31,322
売上原価	23,374	28,343
売上総利益	2,622	2,978
販売費及び一般管理費	1,955	2,063
営業利益	666	915
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	113	98
持分法による投資利益	66	47
為替差益	-	3
その他	33	50
営業外収益合計	214	202
営業外費用		
支払利息	78	89
為替差損	0	-
その他	35	16
営業外費用合計	114	105
経常利益	766	1,012
特別損失		
固定資産除却損	-	6
投資有価証券売却損	1	-
ゴルフ会員権評価損	-	1
特別損失合計	1	7
税金等調整前四半期純利益	764	1,004
法人税、住民税及び事業税	160	212
法人税等調整額	35	50
法人税等合計	195	262
四半期純利益	568	741
非支配株主に帰属する四半期純利益	2	10
親会社株主に帰属する四半期純利益	565	731

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和3年4月1日 至 令和3年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和4年4月1日 至 令和4年6月30日)
四半期純利益	568	741
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△23	195
繰延ヘッジ損益	△30	85
為替換算調整勘定	93	350
退職給付に係る調整額	5	5
持分法適用会社に対する持分相当額	3	△10
その他の包括利益合計	49	625
四半期包括利益	617	1,367
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	614	1,357
非支配株主に係る四半期包括利益	2	10

3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 令和3年4月1日 至 令和3年6月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント							その他 (注)	合計
	食品事業	海洋事業	機械事業	資材事業	バイオテ ィックス 事業	物流事業	計		
売上高									
外部顧客への売上高	16,090	4,246	2,695	2,231	85	621	25,970	26	25,996
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	47	230	19	79	—	6	383	6	390
計	16,138	4,476	2,714	2,310	85	627	26,353	33	26,387
セグメント利益	632	67	127	120	7	17	972	10	983

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に不動産賃貸業を営んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	972
「その他」の区分の利益	10
全社費用(注)	△316
四半期連結損益計算書の営業利益	666

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自 令和4年4月1日 至 令和4年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							その他 (注)	合計
	食品事業	海洋事業	機械事業	資材事業	バイオテ ィックス 事業	物流事業	計		
売上高									
外部顧客への売上高	20,365	4,702	3,254	2,262	83	626	31,295	26	31,322
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	62	312	31	96	—	7	509	6	516
計	20,427	5,015	3,286	2,358	83	633	31,805	33	31,838
セグメント利益 又は損失(△)	663	95	342	136	△0	△6	1,229	19	1,249

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に不動産賃貸業を営んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	1,229
「その他」の区分の利益	19
全社費用(注)	△334
四半期連結損益計算書の営業利益	915

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。